

第1回施設管理研修会

(病院設備の法改正と管理対応・省エネ補助金制度の活用)

●日時 平成29年7月25日(火)

13時30分～16時20分

●会場 岡山県医師会館 402会議室

●出席者 24病院26名・委員11名

講演1

フロン排出抑制法の概要

フロン対策について



講師 岡山県環境文化都環境企画課 審査・調整班 楠奥 浩庸 総括参事

様々な空調機器・冷凍冷蔵機器などに使用されている冷媒には、フロン類と呼ばれる、特定フロン(CFC、HCFC)、代替フロン(HFC)がある。フロン類は、扱いやすく人体への毒性が小さい反面、オゾン層破壊や地球温暖化といった環境への影響が大きい。そのため、フロン回収・破壊法を改正、平成27年4月にフロン排出抑制法が施行された。これにより、フロンのライフサイクルに携わるすべてのフロンメーカー、機器メーカー、ユーザー等に対して、フロン類の使用の合理化や管理の適正化のための法令の遵守が求められるようになった。

講演2

フロン排出抑制法に伴う

冷凍空調機器の管理・点検



講師 一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 一般社団法人 岡山県冷凍空調協会 片山 忍 認定インストラクター

フロン排出抑制法は、フロンのライフサイクルに携わるすべての主体に、第一種特定製品(業務用の空調及び冷凍冷蔵機器)を使用するにあたって、フロン類の漏えいを防止するため、管理者の取り組みを措置に関して判断基準を定めている。内容は、①機器の適切な設置と適正な使用環境 ②機器の簡易(日常)点検と定期点検の実施 ③漏えい時の対応(漏えい個所の特定、修



理) ④点検・修理後の点検・整備記録簿の作成と保管で、これらへの対応や注意事項等について解説していただいた。

講演3

ビル設備の省エネルギー化に向けた

補助金制度の活用について



講師 三菱電機ビルテクノサービス(株) 中国支社 ファシリテイ部営業課 今石 省三 課長



(株)アースエンジニアリングサービス エネルギーコンサルティング事業部 内山 智博 チームリーダー



三菱電機住環境システムズ(株) 中四国支社 開発営業部中国開発営業課 川口 頼亮 課長代理

省エネ補助金は予算の拡大が予想されているが、これらの補助金は活用することにより、設備改修等の経費負担を大幅に軽減できるメリットがあるが、申請時の目標値の必達、法定対応年数の間の適切な管理等が求められている。また、どの補助金が使えるのか、申請作業が膨大、採択されるかどうか分からない等の理由で十分活用されていない面もある。本講演では、これらについて、分かりやすく解説していただいた。補助金は参加者の関心が高く、多くの質問が出された。

(施設管理委員 山縣俊介)